



こどものまち宣言



ここに わたしがいる
だからいま この歌をうたおう

だれでもない
世界に一人の わたしがいる

信じれば 生まれる 力
ふみ出せば つながる 明日

ありのままの わたしでいい
この島の 大地に立つ
すべては いま わたしにある

ここに わたしがいる
だからいま この歌をうたおう

ひとりじゃない
いつもそばには みんながいる

寄りそえば 生まれる 想い
向きあえば ひろがる 笑顔

ひとりひとり ひびきあう
みんな おなじ空の下

すべては いま みんなと共に

ここに わたしがいる
だからいま この歌をうたおう

手と手あわせ
みんなでつくる このまちを

つながれば 生まれる 勇気
夢えがき かがやく 未来

一步一步 進めばいい
まちは みんなの輪の中に

すべては いま ここからはじまる

わたしがいるから 今日が生まれ
みんながいるから 未来につながる

自由にはばたこう 光の中を
新しい世界は みんなの手に
すべては いま ここからはじまる



こどものまち宣言の趣旨

沖縄市は、15歳未満の人口の割合が全国一高い市(平成17年国勢調査:20.5%)です。こどもたちは、まちの宝であり、こどもたちが多いということは、本市の輝かしい未来への兆しであるとともに、誇るべき特性です。また、本市には、沖縄県を代表する人材育成施設「沖縄こども未来ゾーン」をはじめ、こども文化を育み、こどもを育成する地域資源が豊富にあります。

さらに、本市は、こどもに関連する団体やNPOなど、こどものための市民活動が活発であり、こどもを慈しみ育てる伝統が地域に根づいています。しかし、一方において、こどもたちを取り巻く社会環境には厳しいものがあり、こどもたちを育成するにあたって、多くの課題に直面しているのもまた現実です。まちづくりの長期的な展望に立って、こどものための新たな施策の展開が期待されています。

このような時期にあって、本市は平成20年度を、こどものまちづくり元年と位置づけ、こどもたちの笑顔と歓声が飛び交うまちをめざして、第一歩を踏み出します。沖縄市は、独自の特性や地域資源を活かしつつ、こどもたちの主体的な活動を応援し、こどもたちが夢にむかって元気にたくましく育つ環境をつくることを目的として、「こどものまち」宣言をします。